

## 結成宣言

本日、私たちは、全ての仲間のために！～20春闘勝利！不当労働行為根絶！職場活動を基軸に、安全な鉄道を走らせ、安心して働けるJR東日本を創造し、次世代へ豊かな地球環境・暮らしを継承するために、JTSU-Eへの結集を実現しよう！～の結成スローガンを掲げ、JR東日本輸送サービス労働組合（JTSU-E）水戸地方本部を結成した。

18春闘を契機に、会社からの熾烈な労組脱退パワハラ組織破壊攻撃が開始されたが、JR東労組はこの攻撃に立ち向かうどころか、経営側を付度し、本部役員は自らの責任逃れに終始した。そして、自らの意に沿わない組合員を封殺するため、事実の捏造・改ざんで統制処分を乱発、規約無視の組織運営にまで手を染めてきた。挙げ句の果てには、組合員自らの不利益を覚悟して不当労働行為を告発したにも関わらず、その想いに立つことなく、経営側と同じ立場に身を置き、弾圧するという暴挙に出てしまった。もはや彼らは、労働組合の役割と機能を放棄した存在になり果ててしまった。

社会全体が「働き方改革」の大きな波に吞まれる中で、JR東日本も“変革”を唱え、執拗なまでの不当労働行為・労組脱退パワハラを繰り返し、非組合員化の攻撃を強めている。そして、労働組合ではない「社友会」に加入させ、労働者を守るべき労働法が適用しない社員・環境づくりが進められている。だからこそ、私たちは、労働組合を守る法律と第三者機関を活用しつつ、労働者の権利を守り抜き、組合員を代弁し、未来と展望を切り拓く労働組合組織をつくり出していく。決して企業犯罪に目をつぶり、病んだ現場を黙認することなく、元のような明るい職場と健全なJR東日本・グループ会社を取り戻し、組織強化・拡大を実現していこう。

今、会社は生産性向上を至上命題とした「変革2027」を打ち出し、大規模な効率化施策を矢継ぎ早に実施している。「新たなジョブローテーション」は、社員を会社の意のままに転勤・転職することを可能とした人事運用施策であり、多くの社員を不安の渦に巻き込み、さらに「業務改革」の名のもとに、業務の委託化・外注化のみならず「データ駆動型社会」に備えた、人間と機械との協働のための効率化施策を実施しようとしている。行き着く先は、業務の特殊性を剥奪し人事異動を容易にした「労働の流動化」である。その結果、職場では「人間労働」を軽視するあまり、要員削減だけが目的化され、異常時対応力の著しい低下をはじめ「現場力の低下」につながっている。現場を無視し乖離した経営体質によって過度な労働強化が蔓延り、多くの労働者が疲弊しきっているのが現実だ。だからこそ、職場の現実と組合員の声を背景に団体交渉を強化し、働きがいある職場をつくり出していく。

2020年、東京オリンピック・パラリンピックが開催され社会の大変革期を迎えようとしている。一方で「人口減少・少子高齢化」「気候変動」など、私たちの未来を左右する多くの危機が存在し、放射能問題を抱えた常磐線全線開通も控えている。労働組合の存在が見直されている中で、今後、さらに拡大する格差と差別を廃し、公正と分かち合う精神でセーフティーネットとしての労働組合のあるべき姿・役割を追い求めていく。そして、気候変動対策や循環型社会の一翼を担い、次世代に豊かな地球環境を引き継ぐこと目指していく。そのために、全組合員の総力で職場を原点にたたかい抜くものである。

以上、宣言する。

2020年2月15日  
JR東日本輸送サービス労働組合  
水戸地方本部